



Feng-Shui Gallery

special edition vol.22

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『ダイニングルーム vol.2』



【大写真】壁面のブラケットライトや、印象的なペンダントライトで照明計画されたダイニングルーム。壁面と家具に落ち着いた色を選び、くつろぎのイメージをもたせています。

落ち着いた明るさのダイニングルームは 癒しとくつろぎ、団らんの空間を演出します

ダイニングルームで大切なことは、楽しく食卓を囲むことはもちろんですが、やすらげる空間であることもとても重要です。住む人の家族構成によって、イメージに変化をつけると良いでしょう。やすらげる空間にするには、照明での演出は必須です。壁や天井、家具の色彩に合わせて明るさを調整することで、癒しとくつろぎの空間にすることが可能です。

【写真1】椅子の張り地がアクセントとなっているダイニングルーム。色彩は多用せず照明の柔らかい光が効果的な空間となっています。ステップフロアで上がることで良い氣の流れが生まれます。**【写真2、3】**深みのある壁色に、ビビットな張り地の椅子がアクセントとなっているダイニング。明るすぎると雰囲気が壊れてしまうため、暖色系の照明の光で落ち着いたイメージの空間にしています。観葉植物も空間に合わせた深めのグリーンのものを選ぶとバランスが良いでしょう。**【写真4、6】**大きい窓ガラスから外光が多く取り込める空間や、天井が高く壁面が大きくでてくる空間は、壁や床に白色ではなく比較的しっかりした色を選ぶことで、包み込まれている感覚をもたせ、安心感を与えます。家具や照明器具を変えることで、空間のイメージをガラッと変えることが可能です。**【写真5】**アイボリーの壁紙と白いラタン製の椅子が、さわやかイメージを与えるダイニングルーム。床材に茶系のカーペットを配することで空間を落ち着かせ、すっきりとした中にもくつろぎのある仕上がりになっています。